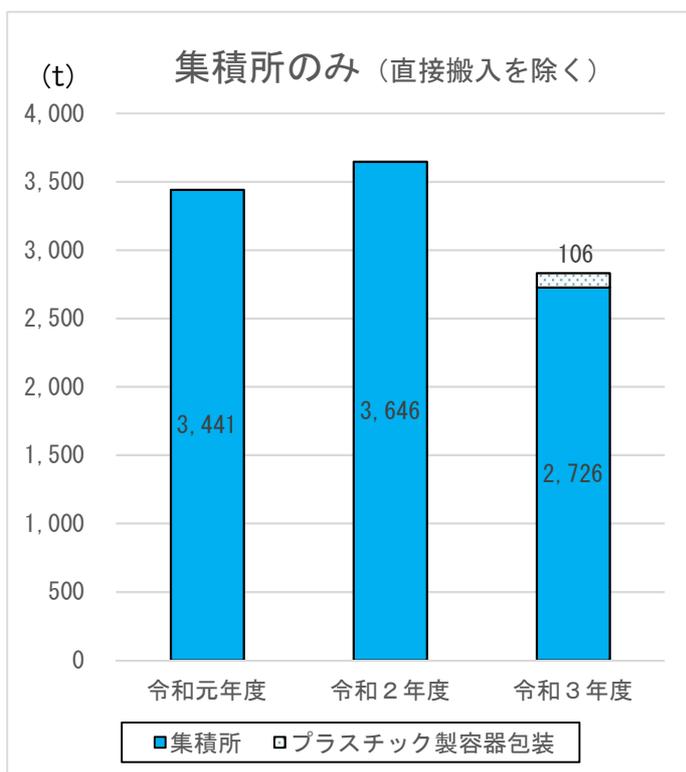


「1年間のごみの量と比較」、「3月のごみの量」について、お知らせします。

1年間のごみの量と比較（令和3年4月から令和4年3月まで）

南知多町ごみ減量化（有料化）実施計画に基づき、令和3年4月から指定ごみ袋の有料化、クリーンセンターへの持ち込み有料化、プラスチック製容器包装の分別収集が始まりました。この間の効果を検証するため、駆け込み排出のない令和元年度と3年度の家庭系可燃ごみ量を比較しました。

1 家庭系可燃ごみの量



2 比較結果

- 可燃ごみが715t減量されました。
 - プラスチック製容器包装導入により可燃ごみから106t分別（資源化）されました。
- ※比較は、集積所に出された可燃ごみとプラスチック製容器包装で行いました。

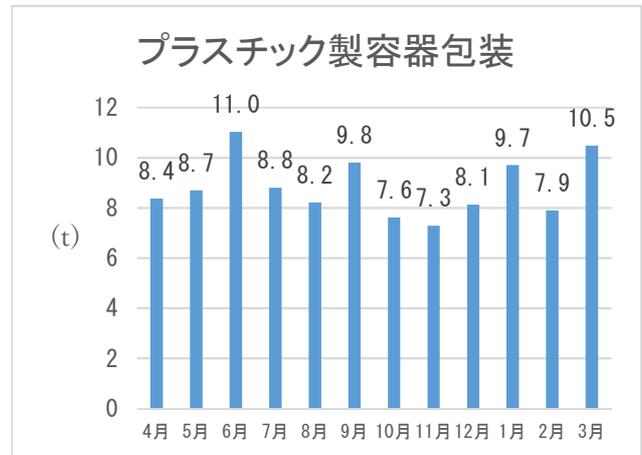
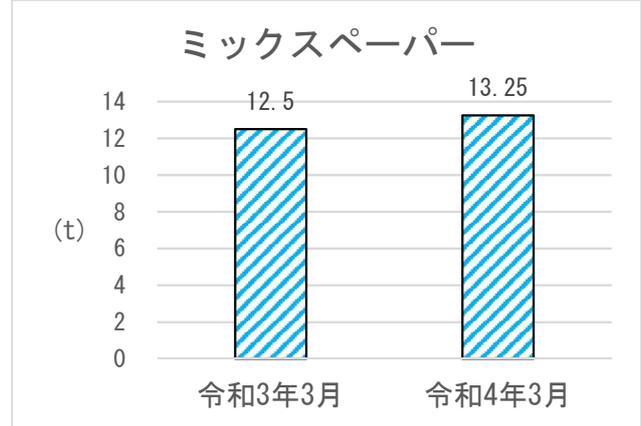
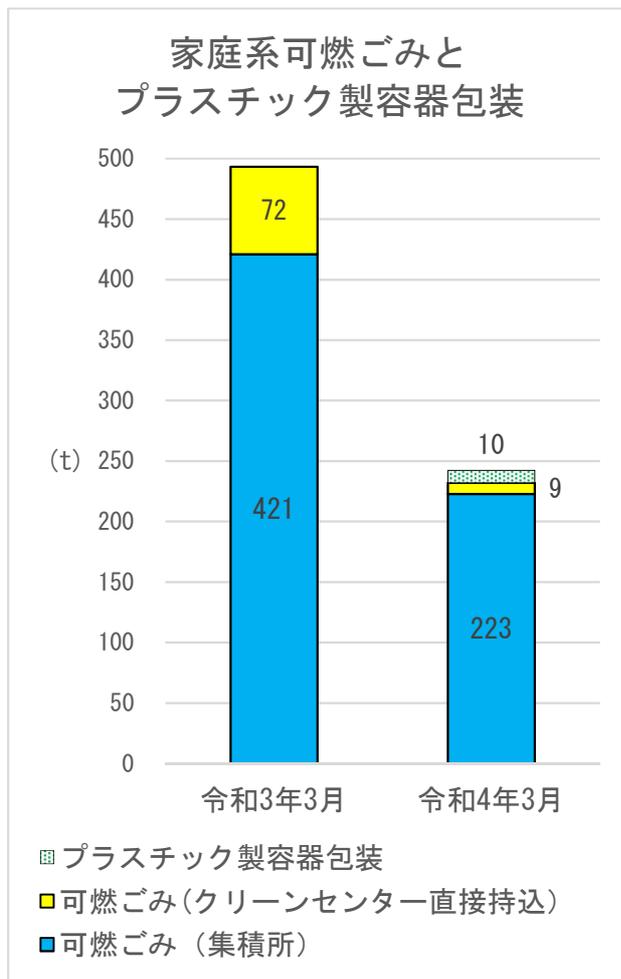
3 効果

- 指定ごみ袋有料化とプラスチック製容器包装導入により21%の可燃ごみが減量できました。
- その他、指定ごみ袋有料化の影響で分別が進み、ミックスペーパーの回収量が増えました。

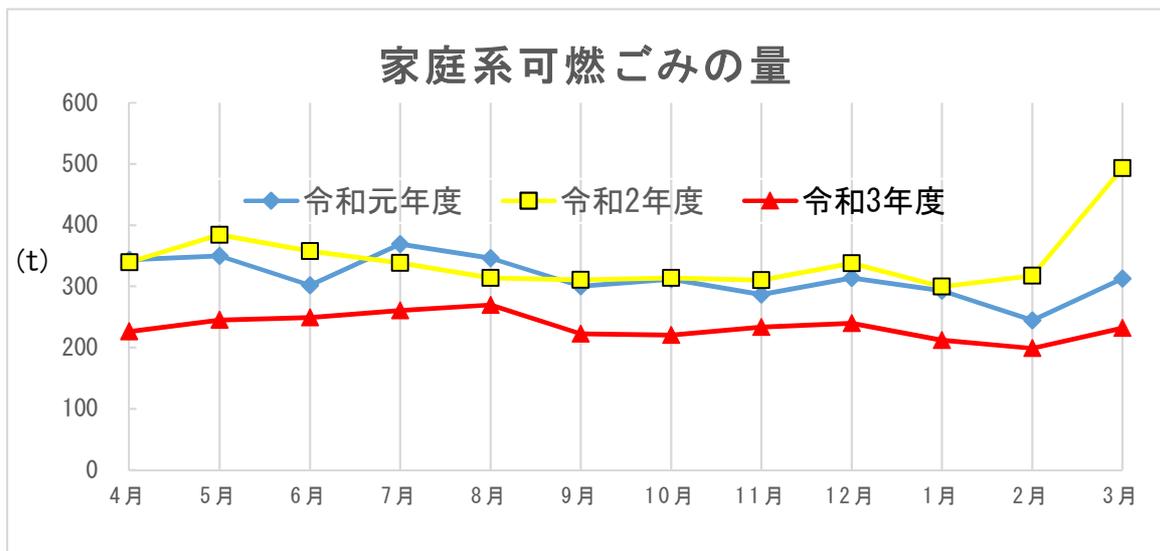
（令和元年度99t→令和3年度140t）

皆さまのご協力により家庭系可燃ごみの減量・資源化が進んでいます。引き続きご協力ください。

3月のごみの量（前年同月比較）



プラスチック製容器包装を分けましょう。



最終号発行にあたり

2年前の6月から毎月発行したごみ通信は、この24号を最終号とします。コロナ感染拡大防止のため「ごみ減量化・有料化住民説明会」が開催できなかったため、皆さまにご理解を深めていただく方法として発行しました。手作り感満載、つたない部分もありましたが、できるだけわかりやすい紙面を心がけました。みなさまのご理解とご協力に深く感謝し、お礼を申し上げます。